

# 近い国・韓国

6月22日(土)青山公民館で国際理解出前講座を実施し、17名が参加しました。韓国・釜山出身の孫珠美さんは、お母様が九州出身で、釜山で育ち、現在は日本で20年以上暮らしておられます。

前半は、釜山の見どころや食文化等、韓国旅行をしているような気分になれる、楽しいお話を聞かせてくださいました。行列のできるお店ではなくても、市場で買った新鮮な材料を使って調理してくれるお店や、美味しいお店がいろいろあるそうですが、特に孫さんおすすめは「<sup>テジクッパッ</sup>돼지국밥」(豚肉やご飯をスープで煮込んだ釜山名物、テジ=豚、クツ=スープ、パ



=ご飯の意)。注文する時に使える「<sup>テジクッパッ</sup>돼지국밥 <sup>チュセヨ</sup>주세요」(テジクッパください)は、みんなでしっかりと発音を練習しました。また、「ヨンドデキョ」(跳ね橋)は、日本が統治していたころに建築されたものですが、今は多くの観光客が見物に集まり、今も橋を上げ下げしているそうです。

後半は、ご自身の子どもの頃の写真も交え、昔の釜山と現在の釜山を見比べて、文化や家族の在り方を教えていただきました。昔の釜山には、日本によって作られた建築物や看板などの名残が色濃く残っていましたが、現在の釜山は大きく発展を遂げた大都市となりました。



家族で食卓を囲むときの場所の決まりごとで、上下関係がはっきりしていて父親を立てる一方、「食事中は楽しく、絶対に怒らない」という家族の食卓のルールがあったこと、お正月のご挨拶など、孫さんの家族の思い出を通して、釜山の独特の文化も感じられました。

最後には、韓国語の簡単なレクチャーもありました。「<sup>チュセヨ</sup>~주세요」の応用方法など、すぐに活用できそうです。

釜山へ行ってみたいくなったというお声もあり、すっかり身近になった釜山を一層近くかつ深く感じられる、楽しい講座になりました。